



## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月1日

上場会社名	日東紡	上場取引所	東証・大証第1部
コード番号	3110	URL	http://www.nittobo.co.jp/
代表者	(役職名) 代表取締役	(氏名)	南園 克己
問合せ先責任者	(役職名) 取締役企画本部経理部長	(氏名)	赤井 格
四半期報告書提出予定日	平成20年8月13日	TEL	(03) 3514-3810

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績 (平成20年4月1日～平成20年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	30,437	—	1,365	—	1,638	—	667	—
20年3月期第1四半期	33,013	△0.8	2,504	15.4	2,695	24.9	1,507	△0.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	2 70	—
20年3月期第1四半期	6 10	—

※当期より「四半期財務諸表に関する会計基準」等に基づき財務諸表を作成しているため、当期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	149,337	74,478	48.7	294 54
20年3月期	156,148	75,928	47.3	298 83

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 72,794百万円 20年3月期 73,859百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0 0	—	4 0	4 0
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	0 0	—	4 0	4 0

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無： 無

### 3. 平成21年3月期の連結業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	66,000	—	2,400	—	2,400	—	1,300	—	5 26
通 期	136,000	△0.4	6,500	△36.7	6,500	△36.5	3,500	△41.0	14 16

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無： 無

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）  
① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有  
② ①以外の変更 : 無  
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数（普通株式）
- |                      |             |              |             |              |
|----------------------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  | 21年3月期第1四半期 | 247,677,560株 | 20年3月期      | 247,677,560株 |
| ② 期末自己株式数            | 21年3月期第1四半期 | 529,177株     | 20年3月期      | 516,963株     |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 21年3月期第1四半期 | 247,152,651株 | 20年3月期第1四半期 | 247,212,424株 |

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、本資料の3ページに記載の【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 平成19年3月14日）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(平成20年4月1日～平成20年6月30日)は、米国サブプライムローン問題に端を発して世界経済が減速傾向となり、わが国経済も原油や原材料価格の高騰等による企業収益の悪化、食料品などの生活必需品の値上がりによる個人消費の低迷などの要因により、減速感を強めながら推移しました。

繊維業界は個人消費の落ち込みにより市況が低迷し、引続き厳しい環境となりました。

建材業界は景気の先行き不安から買い控えが進み、住宅着工戸数が減少しました。非居住用途につきましても、企業収益の悪化により設備投資が減少し低調に推移しました。

グラスファイバー業界は、電子材料向けは比較的堅調に推移したものの、建築・住宅機器向けは低調に推移しました。

また、その他の事業は概ね堅調に推移しました。

その結果、日東紡グループの売上高は304億37百万円、営業利益は13億65百万円、経常利益は16億38百万円、四半期純利益は6億67百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の財政状態及びキャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

## (財政状態)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1,493億37百万円となり、前連結会計年度末と比較して68億10百万円減少しました。主な要因は、現金及び預金の減少などであります。

負債は748億58百万円となり、前連結会計年度末と比較して53億60百万円減少しました。主な要因は、法人税等の支払による未払法人税などの減少であります。

純資産は744億78百万円となり、自己資本比率は48.7%と前連結会計年度末に比べ1.4ポイント上昇しました。

## (キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益12億43百万円や減価償却費14億6百万円、法人税等の支払額25億73百万円などにより18億97百万円の資金が減少しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得13億7百万円、投資有価証券の取得10億74百万円などにより24億8百万円の資金が減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の純減少額11億59百万円、配当金の支払額9億89百万円などにより21億83百万円の資金が減少しました。

これらの結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は122億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ65億84百万円の資金が減少しました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、米国経済や為替の動向、原油や原材料価格の動向、さらには住宅着工戸数の低迷など、種々の要因による景気減速への懸念が強まっており、引続き予断を許さない状況にあります。

当第1四半期における業績は、概ね計画通りに推移していることから、第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想については、平成20年5月13日の期末決算発表時に公表した予想を変更していません。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## ①簡便な会計処理

## 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

## 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

## 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法により算定しております。

## ②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 平成19年3月14日）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日）を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下による簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ79百万円、税金等調整前四半期純利益は438百万円減少しております。なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

## (追加情報)

平成20年度の法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間から主として機械装置についての耐用年数の見直しを行い、一部の固定資産について耐用年数の変更を行っております。

これにより、減価償却費は56百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ同額減少しております。なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

## 5. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

	(単位：百万円)	
	当第1四半期 連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	12,488	19,084
受取手形及び売掛金	38,345	40,220
製品	10,218	10,361
原材料	1,481	1,438
仕掛品	3,599	3,449
貯蔵品	10,629	10,086
繰延税金資産	1,564	2,252
短期貸付金	171	171
その他	2,000	1,507
貸倒引当金	△107	△116
流動資産合計	80,392	88,455
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,907	16,230
機械装置及び運搬具	12,583	12,896
土地	18,005	18,029
建設仮勘定	1,808	980
その他	1,176	1,156
有形固定資産合計	49,482	49,292
無形固定資産		
無形固定資産	1,836	1,751
投資その他の資産		
投資有価証券	11,850	11,109
長期貸付金	34	34
繰延税金資産	4,334	4,127
その他	1,619	1,583
貸倒引当金	△213	△204
投資その他の資産合計	17,626	16,649
固定資産合計	68,945	67,693
資産合計	149,337	156,148

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
(負債の部)		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,210	21,854
短期借入金	4,018	4,680
一年以内返済予定の長期借入金	5,394	7,241
未払金	2,467	2,134
未払法人税等	398	2,789
未払消費税等	168	185
繰延税金負債	63	57
賞与引当金	880	2,253
事業構造改善引当金	110	110
その他	4,899	4,318
流動負債合計	38,610	45,626
固定負債		
長期借入金	15,730	14,403
退職給付引当金	13,298	13,011
修繕引当金	4,161	3,989
繰延税金負債	160	169
その他	2,896	3,018
固定負債合計	36,247	34,593
負債合計	74,858	80,219
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	19,699	19,699
資本剰余金	23,062	23,062
利益剰余金	29,202	29,523
自己株式	△118	△115
株主資本合計	71,846	72,169
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,831	1,704
繰延ヘッジ損益	24	—
為替換算調整勘定	△907	△14
評価・換算差額等合計	948	1,689
少数株主持分	1,684	2,069
純資産合計	74,478	75,928
負債純資産合計	149,337	156,148

## (2) 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)	
当第1四半期連結累計期間	
(自 平成20年4月1日	
至 平成20年6月30日)	
売上高	30,437
売上原価	23,131
売上総利益	7,306
販売費及び一般管理費	5,940
営業利益	1,365
営業外収益	
受取利息	10
受取配当金	164
持分法による投資利益	112
受取賃貸料	47
為替差益	178
その他	129
営業外収益合計	642
営業外費用	
支払利息	126
退職給付会計基準変更時差異の処理額	142
その他	100
営業外費用合計	369
経常利益	1,638
特別利益	
貸倒引当金戻入額	11
特別利益合計	11
特別損失	
固定資産処分損	31
投資有価証券評価損	9
たな卸資産評価損	359
その他	6
特別損失合計	406
税金等調整前四半期純利益	1,243
法人税、住民税及び事業税	181
法人税等調整額	393
法人税等合計	575
少数株主利益	0
四半期純利益	667

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,243
減価償却費	1,406
引当金の増減額 (△は減少)	△912
売上債権の増減額 (△は増加)	1,778
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△782
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,507
その他	△602
小計	623
利息及び配当金の受取額	184
利息の支払額	△132
法人税等の支払額	△2,573
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,897
投資活動によるキャッシュ・フロー	
固定資産の取得による支出	△1,307
投資有価証券の取得による支出	△1,074
その他	△25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,408
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△638
長期借入れによる収入	4,087
長期借入金の返済による支出	△4,607
配当金の支払額	△989
その他	△34
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,183
現金及び現金同等物に係る換算差額	△95
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,584
現金及び現金同等物の期首残高	18,840
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,256



当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年6月30日）

	繊維事業 (百万円)	建材事業 (百万円)	グラスファイバー事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	2,704	10,941	13,123	3,667	30,437	—	30,437
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	12	216	135	159	524	(524)	—
計	2,717	11,158	13,258	3,827	30,962	(524)	30,437
営業利益	156	△239	1,065	560	1,542	(177)	1,365

(注) 1 製品の種類、性質、製造方法、販売方法等の類似性、損益集計区分及び関連資産等に照らし、事業区分を行っております。

## 2 各事業の主な製品

- (1) 繊維事業 …… コアスパン糸、ストレッチ製品、芯地製品、二次製品
- (2) 建材事業 …… 不燃吸音天井板、ロックウール製品、グラスウール製品、  
床材、プラント、音響エンジニアリング
- (3) グラスファイバー事業 …… グラスファイバー製品、電子関連材料、FRP採光板
- (4) その他の事業 …… メディカル、清涼飲料水、スペシャリティケミカルス、ビル賃貸業、  
スポーツ施設運営、保険代理業

## 3 会計方針の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

【定性的情報・財務諸表等】4(3)②に記載の通り、通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、「繊維事業」は営業利益が3百万円減少しております。「建材事業」は営業利益が15百万円減少しております。「グラスファイバー事業」は営業利益が52百万円減少しております。「その他の事業」は営業利益が7百万円減少しております。

## 4 追加情報

【定性的情報・財務諸表等】4(追加情報)に記載の通り、平成20年度の法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間から主として機械装置についての耐用年数の見直しを行い、一部の固定資産について耐用年数の変更を行っております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、「繊維事業」は営業利益が3百万円減少しております。「建材事業」は営業利益が41百万円減少しております。「グラスファイバー事業」は営業利益が7百万円減少しております。「その他の事業」は営業利益が3百万円減少しております。

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合が90%を越えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

## 【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	アジア	北米	欧州	その他	計
I 海外売上高（百万円）	4,023	601	383	140	5,147
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	—	30,437
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	13.2	2.0	1.2	0.5	16.9

（注）1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

- (1) アジア……………中国、台湾、韓国等
- (2) 北米……………アメリカ、カナダ
- (3) 欧州……………ドイツ、イギリス、ロシア等
- (4) その他の地域……………中南米、アフリカ、オセアニア等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

## 「参考資料」

## 前第1四半期にかかる財務諸表

## (1) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前年同四半期 〔平成20年3月期〕 第1四半期
		金額
I	売上高	33,013
II	売上原価	24,465
	売上総利益	8,547
III	販売費及び一般管理費	6,043
	営業利益	2,504
IV	営業外収益	708
	1. 受取利息及び配当金	124
	2. 持分法による投資利益	143
	3. その他	440
V	営業外費用	517
	1. 支払利息	154
	2. その他	362
	経常利益	2,695
VI	特別利益	39
	1. 固定資産売却益	25
	2. その他	13
VII	特別損失	60
	1. 固定資産処分損	53
	2. その他	7
	税金等調整前四半期純利益	2,673
	法人税、住民税及び事業税	331
	法人税等調整額	799
	少数株主利益	35
	四半期純利益	1,507

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

項 目	期 別	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
		金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益		2,673
減価償却費		1,418
売上債権の減少額		1,766
たな卸資産の増加額		△ 1,052
仕入債務の減少額		△ 1,007
その他(純額)		120
(小計)		3,919
法人税等の支払額		△ 2,784
構造改善に伴う支出		△ 55
その他(純額)		△ 32
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,047
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出		△ 1,057
固定資産の売却による収入		33
その他(純額)		14
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,009
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純減少額		△ 900
長期借入れによる収入		200
長期借入金の返済による支出		△ 1,148
親会社による配当金の支払額		△ 741
その他(純額)		△ 23
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 2,613
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		△ 5
V 現金及び現金同等物の減少額		△ 2,581
VI 現金及び現金同等物の期首残高		20,370
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高		17,788

## (3) セグメント情報

(事業の種類別セグメント情報)

前年同四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)

(単位：百万円)

	繊維事業	建材事業	ガラスファイバー 事業	その他の事 業	計	消去又は 全社	連結
I 売上高及び営業損益							
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	2,942	11,884	14,479	3,706	33,013	—	33,013
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	148	165	118	443	△ 443	—
計	2,954	12,032	14,645	3,824	33,456	△ 443	33,013
営業費用	2,843	12,013	12,661	3,309	30,828	△ 319	30,509
営業利益	111	18	1,983	514	2,628	△ 124	2,504